

あかるいまち21 元気に生協強化月間

No.1372 2020年12月1日組合員活動推進課 082-532-1264

	11月末現在	2020年度
組合員ふやし	201人	1028人
出資金ふやし	922万円	1074万円
純増	124万円	2756万円

2020年度生協強化月間 有終の美

11/30 最終日に一気に26件の仲間増やし！！

～地域支部 10年で最高の成果「79件」～

	2020年度	10月	11月	10-11月間合計	累計
仲間増やし成果	全体	171件	201件	372件	1028件
	事業所	129件	122件	251件	838件
	地域支部	42件	79件	121件	190件

2020年度生協強化月間が無事終了しました。

30日午後に速報値で到達状況をお伝えしましたが、その後、事業所・地域支部からの加入成果が続々と届き、なんと1日で26件もの成果がありました。

最終日、ちょっとしたドラマがあったのでご報告します。16時を少しまわったところで、生協総務部の出資金担当が入室してきて、「あと2件で200件に到達します！」との情報提供が。一斉に組活職員が「どうする、どうすると」ざわつきはじめ、そこに居合わせた山下理事が即座に「さっき、加入用紙を書いてもらったと報告があったんだけど今から取りに行ってくるよ！」と。間髪入れずに倉野副主任が「吉島支部で加入約束があったので今からすぐ対応します！」という、超ファインプレーの連続で無事200件を突破。その後生協歯科から追加の1件が入り201件となり、達成感いっぱいの最終日となりました。

理事・支部のみなさま、職員のみなさん、大変お疲れ様でした。月間は終了しましたが、引き続き、支部・事業所の年間目標の達成、また、総代会決定目標達成に向けて、意欲的な取り組みをお願いします。



「災害への備えについて」 ～西区西支部～

11月30日（月）、庚午北集会所で安心サポート講座を開催しました。

9月に開催した「災害時の備蓄食品について」の学習に引き続き、広島市地域防災リーダーの三島文明さんをお招きし、庚午地区で想定される災害や避難場所の選択の仕方、避難するタイミング、防災情報の入手方法などについて学びました。



とても印象的だったのは、「迷惑をかけるから避難しなかったと言われる方がいらっしゃいますが、現場の人間からすると避難しないほうが迷惑なんです」とおっしゃってられました。現場で活躍されている三島さんならではの言葉だと思いました。もう一つ、声かけの大切さ。避難するかどうか迷っておられる方もいらっしゃいます。家族やご友人、ご近所の方に一緒に避難しようと背中を押してほしいとのことでした。

様々な心理的作用が働くため、避難は簡単にできるものではありませんが、日頃からの準備をしておくことは重要だと感じました。

広島県高齢者大会74名の参加者で大いに学ぶ！

～食品ロスから現代社会を考える～

11月30日に開催された県高齢者大会。昨年の大会がお昼からの開催だったので、2020年は「昼食をはさんでしっかりと意見交換ができる大会にしよう」という予定だったのですが、残念ながら今年もお昼からの開催。分散会はできなかったのですが、記念講演は大きな学びの場となりました。

元共立病院の管理栄養士である、美作大学特任教授の原田先生の話は目からうろこの連続でした。日本の食料自給率の低さは常識として知っていましたが、その中でも都道府県別にみていくと、そのいびつさが際立ちます。東京・大阪ではなんと1%しかありません。北海道が206%、秋田188%、青森117%ということで、日本人の食料は海外及び地方に依存しているという事。

広島県の自給率もわずか23%。コロナ禍でも東京一極集中の弊害が露呈していますが、食料の問題でもその構造は同じ。

そして、フードバンクの活動から見えてきた課題として、「貧困・格差は資本主義経済に内在している課題。政治の役割が必須」と喝破されました。

台所のジャガイモの皮むきから、新自由主義が必然的にもたらす弊害まで大いに学んだ2時間でした。

